



子どもたちの甲状腺にはどう影響しているの？

甲状腺については、原発事故当時から現在まで検査や調査が行われています。現地原子力災害対策本部では、小児への健康影響を把握するため事故直後に小児甲状腺スクリーニング調査を実施しました。



SPEEDIを活用した試算結果と小児甲状腺スクリーニング調査の場所と実施日  
(出典)復興庁「放射線リスクに関する基礎的情報」より

### 内部被ばくによる甲状腺の等価線量

日時：2011/03/12 06:00 ~ 2011/03/24 00:00の積算値  
 領域：92km×92km  
 核種名：ヨウ素合計  
 対象年齢：1歳児

### 凡例

- 線量等値線 [ミリシーベルト]
- 1 : 10000
  - 2 : 5000
  - 3 : 1000
  - 4 : 500
  - 5 : 100



2011年3月24日～30日にかけて、いわき市・川俣町・飯舘村において小児を対象に甲状腺の簡易測定を行ったところ、調査対象となった1,080人が、原子力安全委員会がスクリーニングレベル※1としている毎時0.2マイクロシーベルトを下回っていたよ。

※1：スクリーニングレベルとは、放射性ヨウ素による甲状腺等価線量が100mSvを超えない値のことを言います。

甲状腺に集まりやすいヨウ素131は半減期が8日なので早期に消失しています。現在でも初期の被ばく線量の再評価がされています。例えばヨウ素129などの計測をしています。

